

みんなが笑顔ですごくせる社会を！

～人権子ども集会に参加して～

10月25日(土)、熊本城二の丸広場で、約1万人が参加して「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす『熊本県人権子ども集会』がありました。

「見える差別は減ったけど、見えない差別は減っていません。自分の本音を出すことが大切です。今日から自分を解放してみませんか。私たちに、こんなはたらくさんの仲間がいるんです。」高校生の実行委員長のあいさつで始まり

ました。集会では、小・中・高校生がそれぞれの体験に基づいた思いを発表しました。

○一人一人の問題をみんなの問題としてとらえ、笑顔いっぱいやさしいつばいの学校にしようという「友達集会」に取り組んだ小学校。「いやな言葉を使った自分が嫌いになった。」「自分を好きになりたい。ずっと好きでいたい。」など自分を振り返り、決意を述べた子どもたちのことが印象的でした。

○菊池恵楓園との交流が続いている中で、回復者への差別に憤りを覚えるとともに交流を通じてたくさんの方のことを学んでいく中学生。「差別をなくすことは難しいが克服することはできる。」差別は人間

がつくったものだから人間の努力で克服できる。」人間は悩みながら成長していく。」「励まし合える仲間がいると、悩みを克服できる。」などの中学生の訴えに心が熱くなりました。

○人権作文『ありがとう』の響く家から」を発表した中学生。小学2年の時、急な残業のため帰りが遅くなった両親に代わり、彼女は目玉焼きを作り2歳下の妹と一緒に食べ、床につきます。夜遅く帰宅したお母さんは妹の手紙「おしごとおつかれさまでした。おねえちゃんがんばるやきをふたつつくってくれたのでなつ

とうといつしよに食べました。めだまやきはふたつだったけど、わたしは4人で1つずつのほうがいいです。おやすみなさい。」を読んで号泣したそうです。家族が互いのことを気遣い、助け合い、自分のできることは自分でしたこと

に感謝しての号泣だったのでしょう。心からの感謝の言葉「ありがとう」があふれる家庭の様子が目に浮かびました。人権感覚は家庭生活の中で育まれることを実感しました。

○「本音を出し合い共に差別と闘う仲間になろう」と呼びかけた高校生。自分のつらい経験や思いを語りました。ク

ラスの皆からいじめに遭い、不登校になって昼夜逆転の生活に陥った中学時代。いじめの側の中心にいたA男について、「両親は仕事で忙しくていつも家にいなくて寂しい思いをしている」ことを母親から聞き、「憎たらしいいいじめっ子」から「憎たらしいいいじめっ子」だけと寂しい子」という印象が変わったこと。高校3年で出会った「あそこって元部落よね」という友達の発言を両親や担任と話し合い、当人だけでなく他の親しい友達にも自分が差別と闘う生き方をしていることを語り、差別をなくす側に立つて欲しいと強く願っていることを語りました。「共に差別をなくす仲間を一人でも増やしたい」という彼女の熱い思いと優しさ、参加者の心に響きました。

集会アピール文は、「つらい思いをする人がいない世の中を、涙を流す人がいない世の中を、誰もがみんな笑顔ですごくせる世の中を、一緒につくっていきましよう」と締めくくっています。みんなが笑顔ですごくせる社会をみんながつくりあげましよう。

益城町教育委員会

ふるさとの地名郷歩

歴史の変遷と地名

304

福田村郷土誌「旧跡」の項に次の記述があります。

「朝来池。大字福原字原志山式千三百拾五番地：広サ大凡二畝位、中二小島二三アリ。周囲二八種々ノ花木ヲ植工風流閑雅人里離レタル所ナリシヲ想見スルニ足ル。朝来先生ノ此地ニ居ラ定メラレタルモ亦故ナキニアラザルナリ。今ハ河内田ニ通ズル道路ノ右側ニアリテ先生ノ遺跡モ為ニ失セ去ラントス。」

この嵯峨朝来先生の屋敷跡は川内田に至る途中の熊野宮の真下に当り、その池が残っていたのを筆者も記憶しています。

朝来先生、名前は直方で通称は左三郎、後に直方を輔と改めます。宗家の長兄が死去し次兄が跡を継がず自分が継ぐ立場になりましたが、固く辞退して長兄の子供に譲り、朝来山の麓の松久保に家建てて隠棲し、朝来山人を雅号としました。

藩校肥後時習館教授、高本紫潭に漢学を学び漢詩を良くしましたが、その遺稿は「肥後文献叢書第五巻」に「朝来先生遺稿巻之一・巻之二・巻之三」に三九八首が収められ

ています。

朝来先生は母とともに暮らしました。朝晩の食事の支度から身の回りの世話まで母への孝養を尽くす傍ら、近郷の若者達に漢学を講じ多くの子弟を導き人々の高い尊崇を受けました。

ある日弟子が米櫃を覗くと一粒の米も無く、生活を案じた弟子達が宗家の援助を求めように進言しましたが、固く止めて清貧の生活を貫きました。

文化十年八月十四日孝養と子弟指導の功績により、藩公の褒章を受け、文久三年三月十一日、享年七十四歳で永眠しました。墓は田中集落の墓地にあります。

田中の墓地にある嵯峨朝来の墓



益城町文化財を訪ねる会

会長 松野國策